ライカ S2 ファームウェア 1.0.0.16

ファームウェアをアップデートすることにより、ライカ S2 の機能を向上させることができます。

アップデート情報

対象機種	ライカ S2
バージョン	1.0.0.16
ファイル名/ファイルサイズ	FW_S2_1_0_0_16.S2/ 7.48 MB
更新日	2010 年 4 月
ダウンロードページ	https://owners.leica-camera.com/

改善内容

バージョン	内容
1.0.0.16	1. メモリーカード交換後もファイル番号の連番を維持するように変更 2. 本機でフォーマットしていないメモリーカード使用時の不具合を修正 3. パソコンを使った連結撮影時のデータ転送速度を向上 4. 画像再生時の操作性を向上 5. LCD モニターの表示性能を向上 6. 露出モード設定時の操作性を改善 7. LEICA Image Shuttle 使用時の操作性を改善 8. JPEG 画像の画質を向上 9. 各種機能を追加 9.1. ホワイトバランスのプリセットに「HMI」を追加 9.2. ファインダー表示に「露出補正値」を追加 9.3. プレビューボタンにカスタム設定モード用のボタンとしての機能を追加 9.4. 上面ディスプレイのスタンバイモードへの移行時間を設定できる機能を追加 9.5. 操作部のロック機能を追加 9.6. カスタム設定モードで割り当てられるメニュー項目を追加 10. レンズの性能を向上 11. 交換用ファインダースクリーンの自動認識機能を追加 **内容の詳細については、添付資料「アップデートの詳細」をご覧ください。**

注意
ファームウェアのアップデート中は、以下の操作を**絶対に**行わないでください。

- カメラの電源を切る
- バッテリーを取り出す
- レンズを取り外す
- メモリーカードを取り出す

ファームウェアのアップデート中にこれらの操作を行うと、カメラの故障の原因となります。
ファームウェアのアップデート後にカメラが誤作動を起こした場合は、カメラを購入された特約店または
ライカ S-system ヘルプラインまでお問い合わせください。

ファームウェアのアップデート方法

ステップ 1:現在のファームウェアのバージョンを確認する

お使いのカメラのファームウェアのバージョンが現在提供されているバージョンと異なる場合は、ファームウェアを　アップデートすることをおすすめします。

1. カメラの電源を入れます。
2. 機能表示が[セットアップ]となっているメニューボタン(1.21)を押してメニュー画面を表示し、クリックホイール(1.18)を回して[ファームウェア](5.35)を選びます。
3. クリックホイールを押します。現在のカメラとレンズのファームウェアのバージョンが表示されます。
4. ファームウェアをアップデートすると、バージョンが以下のように表示されます。

Camera	Version
LEICA S2	1.0.0.16

ステップ 2:アップデートファイルをダウンロードする

1. パソコンのデスクトップに「FW_S2_1_0_0_16.S2」をダウンロードします。
2. ダウンロードしたファイルのサイズを確認します。サイズが上記の「アップデート情報」のサイズと異なる場合は、再度ダウンロードしてください。

ステップ 3:アップデートファイルを CF メモリーカードまたは SD メモリーカードにコピーする

メモリーカードの準備(フォーマット)

1. カメラでメモリーカードをフォーマットします。フォーマット方法については、取扱説明書の 42 ページをご覧ください。

   <u>注意</u>
   メモリーカードをフォーマットすると、プロテクトされたデータを含むすべてのデータが消去されます。消去されたデータは、特殊なソフトウェアを使わないと復旧できません。

2. フォーマットしたメモリーカードをパソコンのカードスロットに挿入します。パソコンにカードスロットが装備されていない場合は、外付けのカードリーダーをお使いください。
3. 「FW_S2_1_0_0_16.S2」をメモリーカードのルートディレクトリ(*1)にコピーします。

   (*1)ルートディレクトリ=メモリーカードを開いたすぐの場所

ステップ 4:ファームウェアをアップデートする

1. パソコンのカードスロットまたはカードリーダーからメモリーカードを取り出し、カメラのカードスロットに挿入して、カードカバーを閉じます。

2. **AE/AF ロックボタン**（1.17）を押しながら、カメラの電源を入れます。電源を入れると、数秒後にアップデートが始まります。アップデートが始まったら、AE/AF **ロックボタン**を離します。
   アップデート中は、LCD モニターに進行状況が表示されます。アップデートは約 60 秒で完了します。

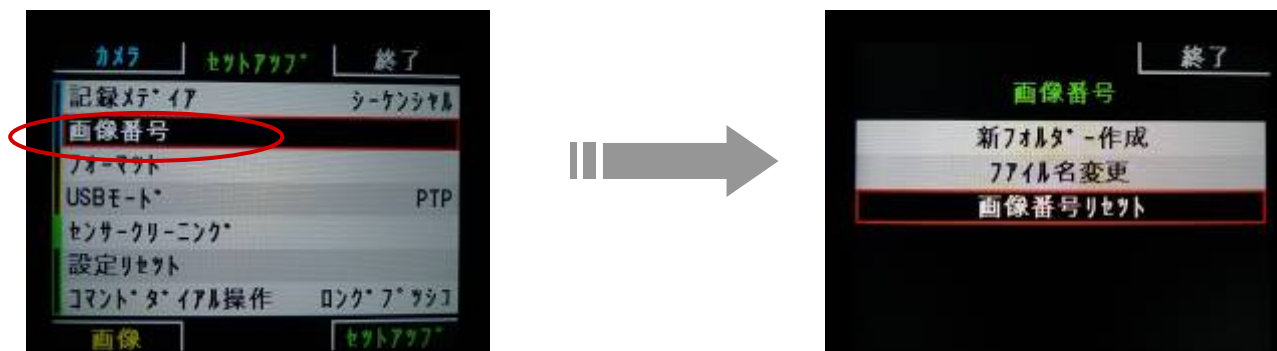
3. アップデートが完了したら、カメラの電源を切ります。再度カメラの電源を入れ、ファームウェアのバージョンを表示して、正しくアップデートできたかを確認してください（ステップ1を参照）。

   注意
   バッテリーが十分に充電されていないと、LCDモニターに警告メッセージが表示されます。

アップデートの詳細

1. メモリーカード交換後もファイル番号の連番を維持するように変更

メモリーカードを交換しても、ファイル名に使われるファイル番号が自動的に連番で付くようになりました。新しいメモリーカードやフォーマットしたメモリーカードに交換すると、最後に撮影した画像のファイル番号の次の番号が付きます。交換したメモリーカードに、本来連番で付く番号以上の番号が付いた画像がある場合は、その画像の番号の次の番号が付きます。現在のフォルダーにファイル番号が 9999 の画像があるときに撮影すると、新しいフォルダーが作成され、ファイル番号が 0001 に戻ります。フォルダー番号が 999 のときにファイル番号が 9999 に達すると、LCD モニターに警告メッセージが表示されます。この場合は、ファイル番号をリセットしてください。

「画像番号リセット」を選ぶと、カメラが記憶しているファイル番号がリセットされます。次の撮影からは 0001 から連番でファイル番号が付きます。

2. 本機でフォーマットしていないメモリーカード使用時の不具合を修正

パソコンなどの本機以外の機器でフォーマットしたメモリーカードを使うときは、本機でフォーマットし直す必要があります。本機でフォーマットし直さないと、新しいフォルダーが作成されます。

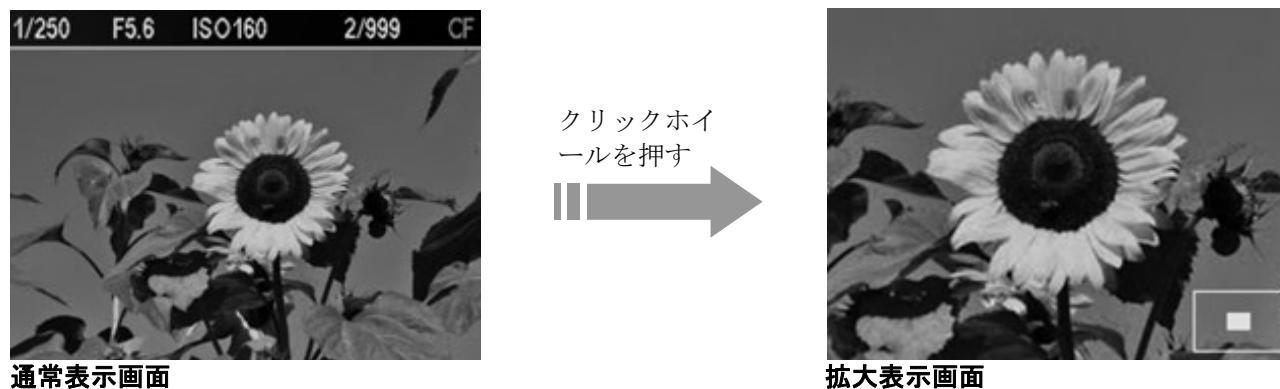
3. パソコンを使った連結撮影時のデータ転送速度を向上

本機とパソコンを接続して行う連結撮影時のデータ転送速度を向上しました。

4.画像再生時の操作性を向上

右上のメニューボタン（1.20）を押して通常表示画面にした後に、クリックホイールを回すだけで表示画像を切り換えることができるように変更しました。また、通常表示画面でクリックホイールを押すと画像を拡大表示（ズーム表示）できるように変更しました。

通常表示画面

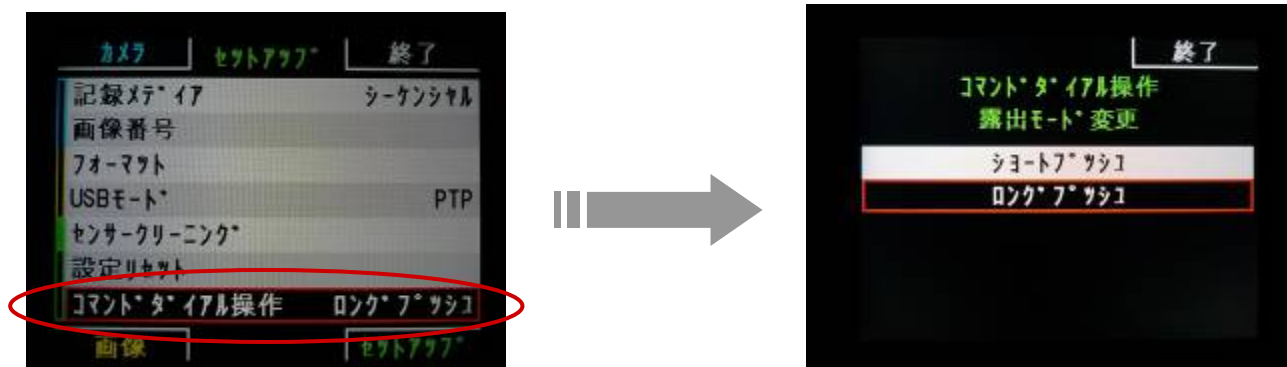
拡大表示画面

5. LCD モニターの表示性能を向上

LCD モニターの表示性能を向上しました。

6. 露出モード設定時の操作性を改善

露出モード（プログラム AE、シャッター速度優先 AE、絞り優先 AE、マニュアル）の切り換えは、シャッター速度ダイヤルとクリックホイールで行います（取扱説明書の 37 ページを参照）。
露出モードが誤って変更されることを防ぐために、露出モードを切り換えるときのクリックホイールの操作方法をメニュー画面で設定できるようになりました。

操作方法は次の 2 種類から選べます。

_ ショートプッシュ: クリックホイール短押しで露出モードを切り換え
_ ロングプッシュ: クリックホイール長押しで露出モードを切り換え

7. LEICA Image Shuttle 使用時の操作性を改善

LEICA Image Shuttle でシャッター速度や絞り値を設定したときに、シャッターレリーズボタンを押してもそれらの設定値がリセットされないように改善しました。また、LEICA Image Shuttle でシャッター速度を設定したときに、設定したシャッター速度がカメラで設定されているシャッター速度と異なる場合は、上面ディスプレイにシャッター速度が青で表示されるようになりました。

シャッター速度や絞り値などを LEICA Image Shuttle で設定した後にカメラで設定し直した場合は、カメラでの設定が有効になります。

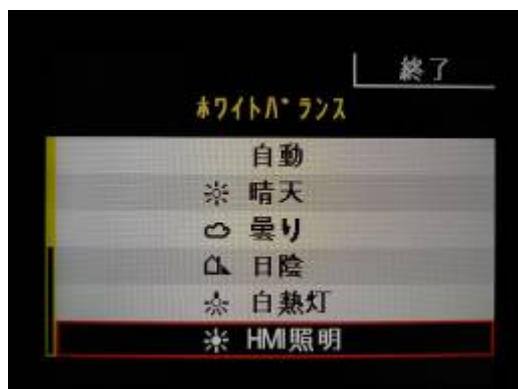
8. JPEG 画像の画質を向上

解像度、シャープネス、ノイズに関する JPEG 画像の処理性能を向上しました。

9. 各種機能を追加

以下の機能を追加しました。

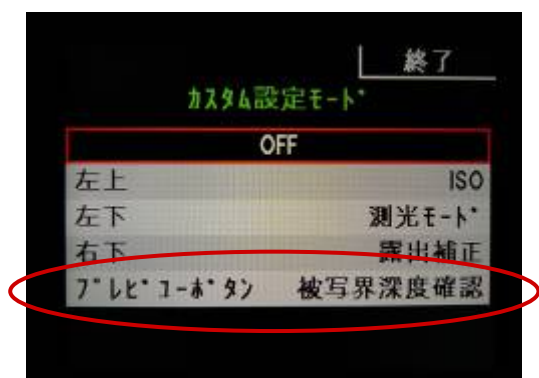
9.1 ホワイトバランスのプリセットに「HMI 照明」を追加

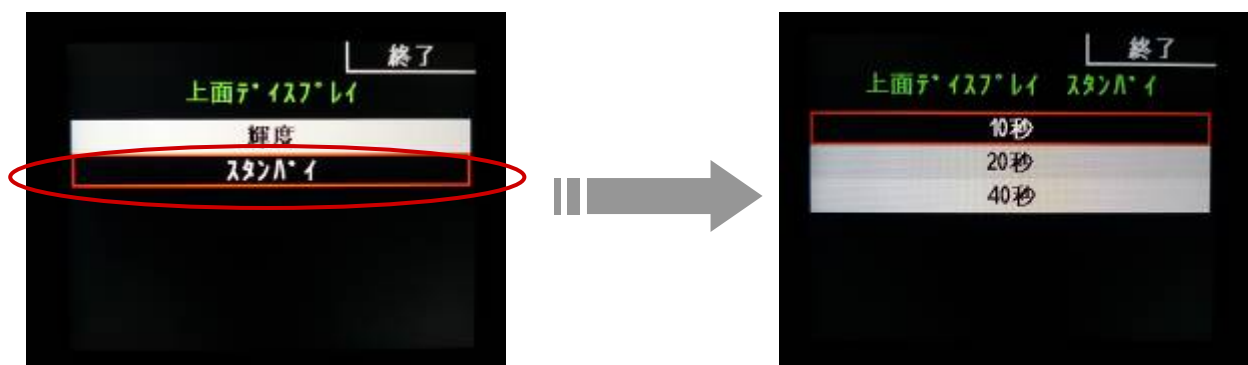
ホワイトバランスで選べるプリセットに「**HMI 照明**」を追加しました。

9.2 ファインダー表示に「露出補正値」を表示

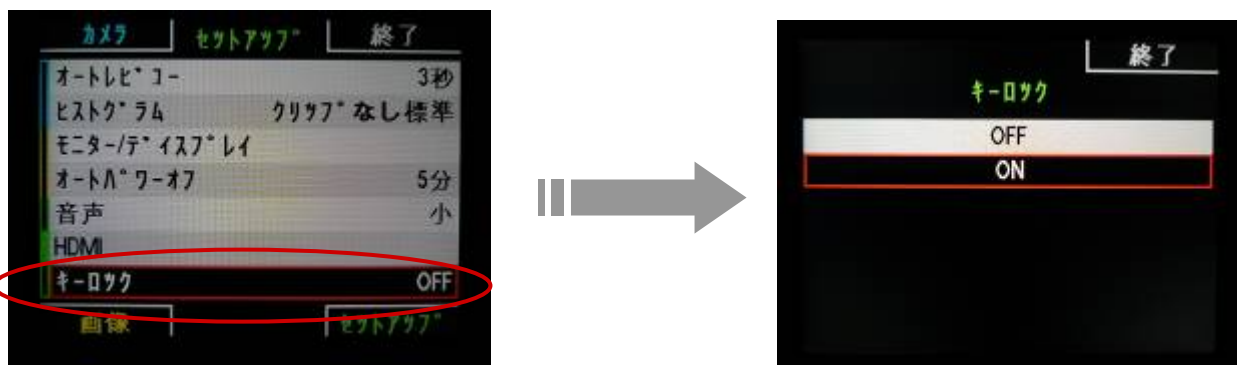
ファインダー内の露出インジケーターに「露出補正値」が表示されるようになりました。

例：露出補正値が+1.5EV の場合

9.3 プレビューボタンにカスタム設定モード用のボタンとしての機能を追加

カスタム設定モードは、任意のメニュー項目をメニューボタン（1.21、1.23、1.24）に割り当てることができる機能です。メニューボタンを長押しするだけでメニュー項目を呼び出せるので、よく使う機能や大事な機能を素早く設定できます。カスタム設定モード用のボタンとして、3つのメニューボタンに加えて**プレビューボタン**（1.3）も使えるようになりました。

9.4 上面ディスプレイのスタンバイモードへの移行時間を設定できる機能を追加

上面ディスプレイがスタンバイモードへ移行するまでの時間をメニュー画面で設定できるようになりました。

9.5 操作部のロック機能を追加

露出の設定にかかわる操作部（シャッター速度ダイヤルと絞り値を設定するときのクリックホイール）について、設定が誤って変更されることを防ぐために、ロック機能を追加しました。ロック機能のオン/オフの切り換えは、メニュー画面で行います。このメニュー項目をカスタム設定モード（9.6 を参照）でボタンに割り当てることもできます。

9.6 カスタム設定モードで割り当てられるメニュー項目を追加

カスタム設定モードは、任意のメニュー項目をメニューボタン（1.21, 1.23, 1.24）やプレビューボタン（1.3）に割り当てることができる機能です。

これらのボタンを長押しするだけでメニュー項目を呼び出せるので、よく使う機能や大事な機能を素早く設定できます。
カスタム設定モードで割り当てられるメニュー項目として、以下を追加しました。

_ **フォーマット**（メモリーカードをフォーマットするときに使用）
_ **キーロック**（露出の設定にかかわる操作部のロック機能のオン/オフに使用）

10. レンズの制御性能を向上

レンズの制御性能をさらに向上しました。

11. 交換用ファインダースクリーンの自動認識機能を追加

交換用ファインダースクリーンの種類（ユニフォームグランドグラススクリーン グリッド付きなど）を自動的に認識する機能を追加しました。
交換用ファインダースクリーンについての詳細は、取扱説明書の 19 ページをご覧ください。